

福岡市の施策の展開について

【基本的方向】

(ページ)

1	市民一人ひとりの、環境保全活動実践を支援・促進する……………	1
2	市民団体の自主的な活動を支援・促進する……………	3
3	学校等における環境教育・学習を支援・促進する……………	5
4	事業者の環境保全活動実践を支援・促進する……………	7
5	行政が率先して環境保全活動を実践する……………	9
6	多様な環境教育プログラム・教材等を提供する……………	11
7	リーダーやコーディネーターを育成・把握するとともに、活躍を促進する……	13
8	各主体やその取組み、環境に関する必要な情報を提供する……………	14
9	各主体の共働・連携を促進する……………	16

<参考>資料内の表記に関する補足

◆ :「福岡市環境教育・学習計画(第三次)」における 10 年後の姿を踏まえた、行政の施策を展開する上での目的

⇒ :◆を実現するための取組み

実績等 :29 年度実績値を記載しています。なお, []内の数値は, 28 年度の値です。

市民一人ひとりの、環境保全活動実践を支援・促進する

自己の日常生活と環境問題の関わりへの気づきにつながる啓発を実施し、市民の自主的な活動を促進する。また、福岡市の人口構成の特徴を踏まえ、対象に応じた啓発を行う。

◆市民が環境問題を身近なこととして捉え、日常の生活と環境問題との関わりを認識する。

⇒日常生活と環境問題のつながりに気づくような環境教育・学習

事業名	内容	実績等
里海保全再生事業 [環]環境調整課	絶滅危惧種のカブトガニなど多様な生物の生息・生育場となっている今津干潟で、地域住民を主体として、市民団体等と共働で里海保全活動を実施。	開催数 4回 [4回]
エコツアー [環]環境調整課	生物多様性がもたらす恵みを学び、身近な自然とのつながりを再認識するため、地域特性に応じたエコツアーを紹介。	パンフレット作成 5000部 [5000部]
トークカフェ [環]環境調整課	身近な自然や食文化など本市の個性・魅力が生物多様性に支えられていることが認識され、生物多様性の重要性を社会へ浸透するよう、NPO 団体や個人が集い、情報やアイデアを共有する場づくりを実施。	参加者数 159人 [139人]
出前講座 [関係各課]	家庭でのごみ減量をはじめ、再生可能エネルギーや越境大気汚染、地球温暖化などのテーマについて、地域・学校・企業等を対象に出前講座を実施。	参加者数 4,838人 [8,382人]

◆市民が環境保全行動を日常的に実行する。

⇒環境行動を促す支援事業や啓発事業、取組み事例の情報発信

事業名	内容	実績等
モラル・マナー向上市民啓発事業 [市]生活安全課	市民・ボランティア団体、事業者、行政が一体となって清掃活動、落書き消し、交通マナー啓発等を行うキャンペーンを実施。また、28年度からモラル・マナー向上推進本部を設置。	歩行喫煙率 減少傾向
福岡市環境行動賞 [環]環境政策課	地球温暖化防止やごみ減量などに先進的・継続的に取り組み、環境保全・創造に高い水準で貢献し、顕著な功労・功績のあった個人・団体等を表彰。	表彰、応募 75件、83件 [95件、108件]
ECOチャレンジ応援事業 [環]環境・エネルギー対策課	電気・ガスの省エネや家庭用 LED 照明の購入、環境イベント参加等、環境保全に寄与する行動(エコアクション)に対してポイントを付与。 ・ポイントは交通系 IC カードの乗車ポイント(1ポイント=1円)に交換	参加世帯数 152世帯 [719世帯]
「緑のカーテン」プロジェクト [環]環境・エネルギー対策課	夏の省エネ対策である「緑のカーテン」の取組みを促進するために、「緑のカーテンコンテスト」など広報・啓発を実施。	応募 111件 [123件]
次世代自動車普及促進事業 [環]環境・エネルギー対策課	電気自動車(EV)購入助成等のインセンティブ施策や、市民・事業者に対する広報・啓発を実施。	購入補助 113台 [85台]

住宅用エネルギーシステム導入促進事業 [環]環境・エネルギー対策課	福岡市地球温暖化防止市民協議会と連携し、市内の太陽光発電設備、家庭用燃料電池、リチウムイオン蓄電システム及び HEMS の設置者に対して補助を実施。	補助件数 1,093 件 [1,344 件]
生ごみリサイクル促進事業 [環]資源循環推進課	クリーンパーク・東部内及び立花寺 1 丁目種苗育成施設内菜園において、生ごみ堆肥の作り方や堆肥を活用した耕作についての市民講座を実施。また、ダンボールコンポストの使い方講座を実施。	参加者数 371 人 [507 人]
節水意識の高揚 [水]総務課	「限りある資源である水をたいせつに使う」心がけが市民(社会)全体に継承され続けるよう、街頭キャンペーンや水道施設見学会などの各種イベント及び各種印刷物を制作し広報活動を実施する。	節水する 92.0% [90.9%]
1日乗車券「ファミちかきっぷ」の発売 [交]営業課	子育て中の家族の支援やさらなる公共交通機関の利用促進、都心部への車の乗り入れ抑制を図るため、お得な1日乗車券「ファミちかきっぷ」を発売。	販売枚数 32,440 万枚 [13,521 万枚] ※H28.10～販売

◆あらゆる世代の市民が、ライフステージに応じた環境教育・学習に取り組み、環境保全活動において活躍する。
⇒学校等における、成長段階に応じた環境教育・学習(→基本的方向3)

⇒若年層に対する環境啓発および環境保全活動の支援

事業名	内容	実績等
エコ発する事業 [環]環境政策課	市民団体をはじめ、環境活動に取り組む U-30(30 歳以下)世代の団体にも資金面等で支援を行うとともに、他団体との交流も推進。	U-30 団体 2 件 [3 件]
環境局ホームページの運用 [環]環境政策課	市民の環境学習を支援するため、ホームページ「福岡市の環境 学ぼう！ つなごう！ ふくおかの環境」で、環境に関する情報を収集・提供。	U-30 団体登録数 29 団体 [29 団体]

⇒環境保全活動における高齢者の活躍促進

事業名	内容	実績等
福岡市環境行動賞 [環]環境政策課	多くの高齢者が環境保全活動において活躍しており、このような取組みについて、表彰を通して広く知らせることで、高齢者をはじめあらゆる世代の活動への参加を促進。	表彰、応募 75 件, 83 件 [95 件, 108 件]

◆転入者や外国人がごみの出し方などの基本的なルールを理解し実行するとともに、福岡市の環境について愛着を持ち、地域の環境活動にも参加する。

⇒転入者や外国人への環境啓発・環境マインドの育成

事業名	内容	実績等
ごみ減量広報・啓発活動 [環]資源循環推進課	市民へごみ減量・リサイクルの啓発を行うため、大都市減量化・資源化共同キャンペーンを実施するとともに、市外からの転入者向けごみルールブック(日英中韓)を作成。	ルールブック 10 万部 [8万部]
区独自事業・南区(南区出前講座) [南]生活環境課	市民や外国人留学生に南区の自然・地球温暖化・循環型社会の現状を認識してもらうことで、市民による自主的な環境活動の促進を図る。	参加者数 1, 268 人 [858 人]

市民団体の自主的な活動を支援・促進する

市民団体の活動がより活発に行われるよう、活動を行うにあたって課題となっている、情報・交流の機会・人材育成・資金面について効果的な支援を行う。

- ◆市民団体の活動が広く知られ、取組みの輪が広がる。
⇒市民団体に関する情報発信や活動を広げる機会・場の提供

事業名	内容	実績等
あすみんウェブ [市]市民公益活動推進課	市民のボランティア団体紹介など、ボランティアに関する情報を福岡市NPO・ボランティア交流センターホームページで提供。	アクセス数 20.4 万件 [19.2 万件]
環境教育・活動の支援のためのホームページの運用【1の再掲】	市民団体の環境活動を支援するため、ホームページ「福岡市の環境 学ぼう！つなごう！ふくおかの環境」で、市民団体の活動情報を収集・提供。	登録数 55 団体 [55 団体]
福岡市環境行動賞 【1の再掲】	地球温暖化防止やごみ減量などに先進的・継続的に取り組み、環境保全・創造に高い水準で貢献し、顕著な功労・功績のあった個人・団体などを表彰。	表彰, 応募 75 件, 83 件 [95 件, 108 件]

- ◆市民団体同士が交流し、共働・連携による環境保全活動を実施する。
⇒団体同士の情報交換・交流の場を設け、団体同士の共働・連携を支援

事業名	内容	実績等
あすみん [市]市民公益活動推進課	市民主体のまちづくり実現のため、NPOやボランティア活動をはじめとする様々な市民公益活動の情報・交流の場を提供。	利用者数 4.9 万人 [4.3 万人]
環境フェスティバルふくおか [環]環境政策課	環境に優しい行動の輪を広げていくための普及・啓発を目的とした、楽しみながら学べる参加体験型のイベントを開催	来場者数 3.3 万人 [3.6 万人]

- ◆市民団体が人材育成に取り組み、活動が広まるとともに後継者が育つ
⇒成熟した市民団体と若者や新規の団体などとの出会い・交流の場の提供

事業名	内容	実績等
エコ発する事業 【1の再掲】	市民団体やNPO法人などが自ら発意・企画し、主体的に行う環境活動への支援を行うとともに、団体間のネットワークづくりを促進。	活動報告会 を実施

- ◆市民団体の資金面における課題が解決する。
⇒市民団体の環境保全活動に対する補助事業や、団体が活用できる他の支援策の情報提供

事業名	内容	実績等
あすみんウェブ [市]市民公益活動推進課	福岡市NPO・ボランティア交流センターホームページで、市民団体が利用できる助成金の情報を広く発信。	アクセス数 20.4 万件 [19.2 万件]

<p>エコ発する事業 【1の再掲】</p>	<p>市民団体やNPO法人などが自ら発意・企画し、主体的に行う環境活動への支援を行うとともに、団体間のネットワークづくりを促進。</p>	<p>補助件数 11件 〔12件〕</p>
<p>地域集団回収等報奨制度 〔環〕資源循環推進課</p>	<p>集団回収等実施団体等に回収量等に応じた報奨金を交付し、回収活動を促進。</p>	<p>回収実績 3.0万t 〔3.2万t〕</p>
<p>地域ぐるみ清掃推進事業 〔環〕資源循環推進課</p>	<p>清掃月間に全市域において、自治会・町内会等が実施する地域ぐるみ清掃に対してごみ袋を配布し、地域の環境美化活動を支援。</p>	<p>参加者数 9.8万人 〔9.8万人〕</p>
<p>緑の活動支援事業 〔住〕みどり推進課</p>	<p>樹林地等の保全管理を行う「地域の森づくり」、地域の公共用地や空地で花壇づくり等を行う「地域の花づくり」を行う団体等の自主的な活動を支援。</p>	<p>支援団体 158団体 〔148団体〕</p>

学校等における環境教育・学習を支援・促進する

関係機関と連携して、小中学校等へ環境教育・学習の様々なプログラムを提供し、教科学習や総合的な学習の時間における環境教育・学習の視点をもった学習を推進するとともに、高等学校や大学における環境教育・学習を推進する。また小学校等の教員が環境について体系的に学べる場の検討を行う。

◆幼稚園や保育園(所)、認定こども園、小中学校において、各教科やその他の教育活動を通し、子どもの成長段階に応じた体系的な環境教育を実施する。

⇒体験活動を学習に取り入れた、環境学習の機会を提供

事業名	内容	実績等
わくわくエコ教室 [環]環境政策課	希望のあった園・学校で出前講座や自然観察会を行い、環境を大切にすることを目的に実施。	指導者育成プログラム 10回 [6回]
わたしたちの樹プロジェクト [環]環境政策課	緑の学習をもとに、子どもたちが樹木を選定し、学校敷地等への植樹を通して、子どもたちの身近な自然への関心や愛着を高める。(29年度目標:60校)	実施校数 44校 [36校]
環境学習支援事業 [環]環境事業所	公共施設・公立学校等の廃棄物収集業務に携わる事業所職員が、小中学校等の環境学習に対する支援及び公共施設等に対しての分別指導を実施。	実施数 258回 [197回]
自然教室開催 [教]研修・研究課	原則として小学5年生及び中学1年生を対象に、背振少年自然の家及び海の中道青少年海の家等で、自然教室を実施。	実施校数 211校/213校 [204校/212校]

⇒学校等で活用できる学習のツールや教材、資料、プログラムなどを充実

事業名	内容	実績等
副読本の作成 [環]環境政策課、 資源循環推進課	小学校での社会科、総合学習等で活用できるよう、「環境」と「ごみ」について、福岡市の状況、取組みについてまとめ、福岡市内の小中学校に配付。	市内全小中学校 に配付

⇒環境に配慮した学校施設などの整備を推進し、学びの場や教材として活用促進

事業名	内容	実績等
市立学校への太陽光 パネル整備事業 [教]施設課	校舎の屋上等に太陽光パネルを設置し、発電量などを表示する表示装置を昇降口や玄関等に設置。発電された電気は使用・売却している。	設置校(計) 96校/225校 [96校/224校]

⇒学校等で取り組める環境保全活動や、他の主体との共働・連携の活動について、事例やモデルなどの情報を発信

事業名	内容	実績等
福岡市環境行動賞 【1・2の再掲】	地球温暖化防止やごみ減量などに先進的・継続的に取り組み、環境保全・創造に高い水準で貢献し、顕著な功労・功績のあった個人・団体などを表彰。	表彰、応募 75件、83件 [95件、108件]

学校における環境教育の推進 (特色ある教育推進事業) [教)学校指導課]	幼・小・中学校等において環境教育をとりあげ、水や空気、エネルギーなどの 様々な視点から自分自身の問題として考えさせる学習に取り組む。	実施校 198校/213校 [194校/212校]
--	---	---------------------------------

◆高等学校や大学、専門学校などで人材を育成するとともに、積極的に環境保全活動に取り組む。

⇒関係機関と連携し、高等学校や大学などを拠点とした人材育成を推進

⇒高校生や大学生などの自主的な環境活動を促進(→基本的方向1)

事業名	内容	実績等
区独自事業・城南区 (福岡大学リサイクルマーケット) [城南)生活環境課]	福岡大学の卒業生や地域住民の不用になった家具や電化製品等を新入生に無償で提供するリサイクルマーケットを大学・市民団体・行政の共働で開催し、ごみや資源物の出し方等の啓発を実施。	来場者数 308人 [381人]

◆教員や保育士などが環境について体系的に学ぶ。

⇒環境教育を実施する指導者への研修の充実や指導者向け情報の発信

事業名	内容	実績等
子ども向け環境教育ウェブサイト「エコッパと学ぼう！こども環境局」の運用 [環)環境政策課]	環境に関する問題を楽しく学習できるように、小・中学生や学校の先生方を対象とした情報を提供。	アクセス数 1.3万件 [1万件]

事業者の環境保全活動実践を支援・促進する

事業者の環境保全活動を促進するための情報提供や支援を行う。また、事業者が取り組んでいる活動を評価し、広く発信していく。

◆事業者が環境に配慮した事業活動を行うとともに、環境保全活動を実施する。

⇒従業員への環境教育のための情報や環境教育プログラムなどの提供

事業名	内容	実績等
オフィス用省エネ・省CO2手引書 [環)環境・エネルギー対策課]	社員一人ひとりが取り組める身近な省エネから、施設の管理者が行う設備機器の省エネ運転方法、投資を伴う省エネ改修まで、幅広く紹介。	HPに掲載、講習会を実施

⇒環境マネジメントシステム導入や環境に配慮した事業活動などのための情報提供

事業名	内容	実績等
エコアクション21取得支援事業 [環)環境政策課]	環境省が推進している中小企業者等向け簡易版環境マネジメントシステム(EMS)である「エコアクション21(EA21)」の市内事業者への普及を図る。	セミナー参加 38事業者 [30事業者]
省エネサポート事業 [環)環境・エネルギー対策課]	市主催の省エネ講習会などで、省エネ対策事例や国等の補助金等を事業者で紹介することで、事業所における省エネ対策を普及促進。	参加者数 196人 [107人]
福岡市環境配慮指針の適切な運用 [環)環境調整課]	各種開発事業の許認可に際して、市として環境保全上の見地から指針に基づき意見を述べることで、事業の環境への配慮を誘導。	事業者へ 情報提供

⇒環境に配慮した行動を支援・促進するしくみの提供

事業名	内容	実績等
次世代自動車普及促進事業 【1の再掲】	電気自動車(EV)購入助成等のインセンティブ施策や、市民・事業者に対する広報・啓発を実施。	購入補助 113台 [85台]
事業系ごみ資源化情報発信事業 [環)資源循環推進課]	資源化に関する専用ホームページの活用により、排出事業者と資源物回収事業者が事業系ごみの資源化に関する互いの情報を共有し、回収へと繋げる。	申込数 80件 [80件]
事業系古紙回収推進事業 [環)資源循環推進課]	古紙回収に取り組んでいない中小事業者等を対象として、関係業界の協力のもとに構築した古紙回収システムにより、効率的・効果的な古紙回収を推進。	回収量 3,930t [3,198t]
環境・エネルギー対応資金の融資 [経)経営支援課]	新エネルギー又は省エネルギー設備、低公害車を導入する中小企業者や、公害の防止に必要な施設の設置・改善を行う中小企業者に対する融資。 (29年度末融資残高:10,702千円)	融資実績 なし [なし]

◆事業者による環境保全活動が広く知られ、活動が広がる。

⇒模範的な活動を行っている事業者の評価・顕彰および活動内容の発信

事業名	内容	実績等
福岡市環境行動賞 【1・2・3の再掲】	地球温暖化防止やごみ減量などに先進的・継続的に取り組み、環境保全・創造に高い水準で貢献し、顕著な功労・功績のあった個人・団体などを表彰。	表彰, 応募 75件, 83件 [95件, 108件]
社会貢献優良企業 (環境配慮型事業所) 優遇制度 [環]環境政策課	企業の社会や市・地域への貢献活動を評価し、社会貢献度の高い市内に本店のある中小企業に対して、福岡市との契約において優先指名する等の優遇制度を設ける。	認定業者 211社 [165社]
資源物回収協定制度 [環]資源循環推進課	優良な資源物回収事業者と協定を締結し、互いに連携を図ることにより資源物の再生利用を促進。	協定 21社 [21社]

⇒事業者が取り組んでいる環境教育や活動支援などの情報の発信、および事業者が提供する体験の機会のことについての認定

事業名	内容	実績等
環境教育・活動の支援のためのホームページの運用 【1・2の再掲】	ホームページ「福岡市の環境 学ぼう! つなごう! ふくおかの環境」で、環境教育を行っている企業やNPO法人に関する情報を収集・提供。	登録団体数 16団体 [16団体]

⇒事業者同士の情報交換・交流の場の提供による、事業者同士の共働・連携の支援

事業名	内容	実績等
福岡市地球温暖化防止市民協議会 [環]環境・エネルギー対策課	市民・事業者・行政が協力して、地球温暖化防止に向けた積極的な実践活動の推進を図ることを目的として設置。	会員数 122団体 [138団体]
エコウェイブ・ふくおか会議 [環]環境・エネルギー対策課	温暖化防止の取り組みを行い、広く他の業者や市民に行動の波を広げることが目的に設立された「エコ・ウェイブ・ふくおか会議」を支援。	総会で取り組みを報告

行政が率先して環境保全活動を実践する

職員一人ひとりが環境意識を高めるとともに、環境に関する知識を深め、行動する。また、あらゆる分野の施策の中に環境の視点を取り入れ、率先して環境にやさしい行動を実行する。

◆職員一人ひとりが環境意識を高めるとともに環境に関する知識を深め、環境行動を実践する。

⇒環境に関する情報交換や研修、実践の場・機会の提供

事業名	内容	実績等
グリーン購入ガイドライン 〔環〕環境政策課	再生品など環境に配慮された製品の普及を図るために、福岡市グリーン購入ガイドラインを策定し、環境に配慮された製品を全庁的に率先購入。	達成率 70% 〔73%〕
庁舎内ごみ減量・リサイクルマニュアル 〔環〕資源循環推進課	庁舎内におけるごみの発生を抑制し、資源物の回収強化を図るとともに、再生品の積極的な利用拡大を図るため作成。	古紙回収量 1,447t 〔1,523t〕
ニワピカ隊 〔環〕産業廃棄物指導課	環境啓発活動の一環として、4～9月の最終水曜日(ノーマンデー)に職員を中心として福岡・天神のまちのボランティア清掃を実施。	参加者数 260人 〔154人〕

⇒NPOや他の機関が開催する環境関連の研修や実践活動などへの参加促進

◆自主的な環境配慮の取組みを率先して実施する。

事業名	内容	実績等
省エネルギー診断事業 〔財〕アセットマネジメント推進課	市有建築物の現状設備での光熱水費低減及び省エネを図るため、民間事業者から指導を受けて光熱水費を低減し、低減額の一部を業者へ支払うもの。	施設数, 低減額 3施設, 42百万円 〔6施設, 51百万円〕
市有施設における再生可能エネルギー導入推進 〔環〕環境・エネルギー対策課	エネルギーの有効活用のため、再生可能エネルギーの導入を推進。	導入施設 195施設 〔192施設〕
森林によるカーボン・オフセット推進事業 〔農〕森林・林政課	本市が実施した間伐による二酸化炭素吸収量を、オフセット・クレジット制度においてクレジットとして環境省の認証を受け、そのクレジットの取引を行うことにより得た収益を森林保育に環流して、森林の整備保全を促進。	売却量 50t-CO2 〔97t-CO2〕

◆あらゆる分野の施策の中に環境の視点を取り入れる。

事業名	内容	実績等
「エコ・イベントふくおか」 手引書 〔環〕環境政策課	イベントにおける環境への負荷を低減する取組を推進するため、本市が主催または共催するイベントにおける環境配慮の指針として、手引書を作成。	市役所内の 活用状況を調査
ごみ焼却熱の有効利用 〔環〕工場整備課	クリーンパークに発電設備を設け、ごみの焼却熱を利用し発電した電力を、所内や西市民プール等の周辺施設で利用し、余剰電力を電力会社へ送電。	総発電電力量 1.4億kWh 〔1.4億kWh〕

自転車通行空間の整備 [道)自転車課]	都心部に向かう道路及び最寄りの鉄道駅に向かう道路を中心に自転車通行空間を整備。	累計 93.3 km [84.0 km]
水素リーダー都市プロジェクト [道)下水道計画課]	下水バイオガスから水素を効率的に製造するシステムを構築し、燃料電池自動車(FCV)に供給。	水素創エネ技術 の実証中
使用済み乗車券のリサイクル [交)乗客サービス課]	地下鉄各駅のごみ減量化を図るため、使用済み乗車券を回収し、トイレトーパー等の原料として再利用。	回収量 8.0t [8.6t]

◆他の主体と共に、環境保全活動を推進していく

事業名	内容	実績等
共働事業提案制度 [市)市民公益活動推進課]	NPO等の斬新なアイデアや専門性を活かした企画提案を募集し、採択された事業について、NPO等と市が、共働で実施。 ※環境保全以外の分野の事業を含む。	実施団体 8 団体 [6 団体]
和白干潟保全のつどい [港)環境対策課]	和白干潟を中心に活動する市民団体等と行政が定期的に意見交換しながら、和白干潟の環境保全に向けた活動などの共働事業を企画・実施。	保全活動 4 回 [4 回]

多様な環境教育プログラム・教材等を提供する

環境の視点を取り入れた、多様な環境教育プログラムや資料・教材、データや機会などを提供することで、環境に対する想いや地域への愛着を深める。その際、各主体と連携しながらあらゆる対象に応じた環境教育プログラム・教材等を整備するとともに、すでに各主体が有しているものについて共有・活用できるしくみづくりを検討する。

◆環境の視点を取り入れた多様なプログラム・教材等により、環境マインドが育つ。

⇒主体や対象に応じた、体系的な環境教育プログラム・教材等の提供(→基本的方向1・3・4)

⇒全ての分野(生活環境, 自然共生, 資源循環, 低炭素)における最新のプログラム・教材等の充実

⇒地域の特性を活かしたプログラムや地域の課題や魅力への気づきにつながるプログラムなどの提供

事業名	内容	実績等
里海保全再生事業 【1の再掲】	絶滅危惧種のカブトガニなど多様な生物の生息・生育場となっている今津干潟で、地域住民を主体として、市民団体等と共働で里海保全活動を実施。	開催数 4回 〔4回〕
エコツアー 【1の再掲】	生物多様性がもたらす恵みを学び、身近な自然とのつながりを再認識するため、地域特性に応じたエコツアーを紹介。	パンフレット作成 5000部 〔5000部〕
トークカフェ 【1の再掲】	身近な自然や食文化など本市の個性・魅力が生物多様性に支えられていることが認識され、生物多様性の重要性が社会へ浸透するよう、情報集約発信等の仕組みを構築。	参加者数 159人 〔139人〕
フラワーハートシティ事業 〔住〕みどり推進課	花と緑あふれるうらおいのあるまちを目指し、街路上での花壇づくりを希望する団体と管理協定を締結し、活動場所を提供。	協定締結数 119団体 〔115団体〕
区独自事業・東区(立花山・三日月山ふれあいの森づくり事業) 〔東〕企画振興課	立花山・三日月山の更なる魅力を高めるため、市民やNPOなどと共働して、市民参加による登山ルートの維持管理や森林保全などを行う。	ボランティア参加者 184人 〔158人〕
人と自転車が共生できるまちづくり事業 〔中央〕道路適正利用推進課	健康的で、環境にもやさしい交通手段である自転車の利用を進めるとともに、路上駐輪の解消、利用者のマナーの向上などに取り組み、自転車と歩行者、地域住民が快適に共生できるまちづくりをめざす。	放置自転車率 3.8% 〔4.7%〕
区の魅力づくり事業・中央区(花いっぱい運動) 〔中央〕総務課	地域コミュニティの向上や青少年の健全育成、違法駐輪・ゴミのポイ捨て防止などを目的に住民・企業及び行政と一緒に花植えや花の日常管理を行う。	植花活動 3回 〔3回〕
区独自事業・城南区(油山の魅力発信) 〔城南〕企画共創課	城南区の自然資源である油山の魅力を広く市民に対して発信し、身近な自然の良さを知ってもらう。また、日本野鳥の会福岡支部と共催して、ハチクマの渡りを観察する機会を提供。	HPによる発信・観察会の実施
室見川水系一斉清掃 〔早良〕生活環境課	室見川水系(室見川・金屑川・油山川)水系の上流から下流まで一斉に清掃を行い、環境保全や自然とのふれあいを推進。 ※平成28年度は雨天により中止となったため、申し込み数。	清掃参加 4,531人 〔4,217人〕

⇒多様な媒体を活用した、環境教育プログラム・教材等の提供

事業名	内容	実績等
環境学習教材の貸出し 〔環〕環境政策課	保育園(所)・幼稚園・小・中学校・地域団体等で、子ども向けの環境教育を行う場合に、環境をテーマにした大型紙芝居・DVD等の環境教材を貸出し。 また、紙芝居を電子化し、HPに掲載するほか、大型紙芝居を総合図書館の団体貸出に追加。	貸出し 1件 〔2件〕
子ども向け環境教育ウェブサイト「エコッパと学ぼう！ こども環境局」の運用 【3の再掲】	環境に関する問題を楽しく学習できるように、小・中学生や学校の先生方を対象とした情報を提供。	アクセス数 1.3万件 〔1万件〕
副読本の作成 【3の再掲】	小学校での社会科、総合学習等で活用できるよう、「環境」と「ごみ」について、福岡市の状況、取組みについてまとめ、福岡市内の小学校に配付。	市内全小学校 に配付

◆各主体が共働・連携して環境教育・学習のプログラムや教材等を提供し、また互いに共有・活用する。

⇒各主体との共働・連携による、環境教育プログラム・教材等の具体的内容の検討

事業名	内容	実績等
副読本の作成 【3の再掲】	小学校での社会科、総合学習等で活用できるよう、「環境」と「ごみ」について、小学校教員と共に検討・作成し、福岡市内の小学校に配付。	市内全小学校 に配付

⇒各主体が有する環境教育プログラム・教材等の活用促進

リーダーやコーディネーターを育成・把握するとともに、活躍を促進する

専門的な知識や教え方の技術を身につけ、環境活動を実践・牽引するリーダーや人や組織の間の調整やネットワークづくりを行うコーディネーターなどの人材を把握・育成するとともに、活躍の場・機会を広げる。

◆リーダーやコーディネーターなどの人材が多く輩出され、地域で広く把握される。

⇒人材を育成する講座などの実施および指導者育成の多様なプログラムの普及促進

事業名	内容	実績等
ふくおかレンジャー 〔環〕環境調整課	子ども向けの自然観察会を開催するとともに、生物多様性に関する取り組みを企画・実施する意欲的な人材を育成。	受講生 27人 〔20人〕
区独自事業・西区(環境を まもる人づくり地域づくり事業) 〔西〕生活環境課	市民の自主的で自律的な環境活動を推進するため、地域のリーダーとなる人材を発掘・育成し、その活動を支援。	養成講座修了者 15人 〔14人〕

⇒地域の人材の把握およびその認定

事業名	内容	実績等
福岡市環境行動賞 【1・2・3・4の再掲】	地球温暖化防止やごみ減量などに先進的・継続的に取り組み、環境保全・創造に高い水準で貢献し、顕著な功労・功績のあった個人・団体などを表彰。	表彰, 応募 75件, 83件 〔95件, 108件〕
環境教育・学習人材リスト 〔環〕環境政策課	環境カウンセラー、環境に関する知識・経験を備えた方々の講師情報をとりまとめ、「環境教育・学習人材リスト」をホームページ上で公開。	登録人材 49人 〔45人〕

◆リーダーやコーディネーターなどが地域の中で活躍する。

⇒人材を必要としている主体とリーダーやコーディネーターなどをつなぐ支援

事業名	内容	実績等
福岡市緑のコーディネーター制度 〔住〕みどり推進課	花や緑に関する知識や技術を有する人を養成・認定し、分野ごとに登録した人材バンク制度で、公民館等へ派遣を行い、地域活動を支援。	登録人材 198人 〔198人〕
まなびアイふくおか 〔教〕生涯学習課	講師・指導者情報などを掲載する学習情報提供システム。	登録人材 690人 〔700人〕

⇒リーダーやコーディネーターなどが、さらにスキルを身につけられるようなネットワークづくりの機会の提供

各主体やその取組み、環境に関する必要な情報を提供する

既存の環境教育・学習施設やさまざまなメディアを利用して、福岡市をはじめとした環境に関する正確で最新の情報を発信し、学ぶ機会を充実する。また、市民団体や学校、事業者などの主体やその環境保全活動についても、PRの支援や表彰制度などを通して広く発信する。

◆地域・社会の状況や各主体のニーズに応じ、環境に関する情報が収集・整理される。

⇒環境情報に関するニーズや関心、認知度などの把握

事業名	内容	実績等
市政アンケート調査の実施 〔環〕環境政策課	市民の環境に関する意識等を確認し、今後の施策実施の参考とするため、環境に関する項目について市政アンケート調査を実施。	P.18 参照

⇒調査・研究の推進や大学、国、県の研究機関などとの連携による、環境問題に関する科学的知見の収集、現状把握の充実

事業名	内容	実績等
自然環境調査 〔環〕環境調整課	自然環境の保全を図るための基礎資料とするとともに、市民への啓発に資するため、自然環境の現状及び貴重種動植物等の生息状況の調査を実施。	調査を実施 ほ乳類・は虫類・両生類・外来生物 〔水生生物・外来生物〕
大気の常時監視 〔環〕環境保全課	大気汚染防止法に基づき大気の汚染状況を把握するために、市内に設置した大気環境測定局の自動測定機により24時間連続的に監視。	一般環境大気 8局 〔8局〕
熱中症対策 〔環〕環境保全課、 環境科学課	市民への注意喚起のため、防災メールやホームページを活用して環境省が予測している暑さ指数について情報提供を行うとともに、熱中症予防のための啓発を実施。	暑さ指数情報をメール配信 4～9月 〔5～10月〕
保健環境研究所における調査・研究の推進 〔環〕環境科学課	保健環境研究所で、熱中症救急搬送者数と気象条件等との関連について調査研究を実施。特定外来生物については、セアカゴケグモの生態調査を実施。	調査研究を実施

◆収集・整理された環境に関する正確で最新の情報が発信・共有され、学びの機会が充実する。

⇒さまざまなメディア・媒体を活用し、対象を意識した効果的な情報発信・共有の推進

事業名	内容	実績等
市政だよりを活用した情報発信	環境啓発イベントの情報などを市政だよりに掲載するとともに、「夏の省エネ対策特集号」などについては市政だよりと同時配布することで、広く情報を発信。	市内全世帯に配布
環境学習のためのホームページの運用 【1・2・4の再掲】	市民の環境学習を支援するため、ホームページ「福岡市の環境 学ぼう！つなごう！ふくおか環境」で、環境に関する情報を収集・提供。	アクセス数約9万件 〔約11万件〕

⇒環境に関するあらゆる分野について、客観的で正確な最新の環境情報の発信

事業名	内容	実績等
黄砂飛来・PM2.5 予測情報の発信 [環)環境保全課]	黄砂及びPM2.5の予測に関する情報を市ホームページや防災メール等で発信するとともに、予測情報の精度向上や市民にわかりやすい情報を提供。	黄砂予測, PM2.5 予測 15回, 6回 [14回, 2回]

⇒情報発信の拠点である、既存の環境教育・学習施設の充実および施設が持つプログラムの有機的な結び付きの強化

事業名	内容	実績等
まもるーむ福岡の運営 [環)環境科学課]	保健環境研究所1階に保健環境学習室「まもるーむ福岡」を設置し、水質測定実験や映像クイズ、カブトガニの観察など、楽しみながら環境について学ぶ講座等を実施。	来場者数 1.4万人 [1.9万人]
3Rステーション事業 [環)資源循環推進課]	市民へのごみ減量・リサイクルに関する情報提供、体験・活動の場の提供、各種講座やイベントの開催を行うとともに、不用品の受入・提供等を実施。	入場者数 12万人 [11万人]
工場見学の受入れ [環)西部工場, 臨海工場]	環境について学ぶ機会を提供するため、環境局の工場で、個人、家族、グループ、学校、企業などの見学を受入。 ※クリーン・エネ・パーク南部の見学者を含む。	見学者数 2.2万人 [1.9万人]

⇒環境教育・学習施設や体験の機会を提供する場について、情報発信・活用促進

- ◆主体や環境保全活動が広く知られ、活動への参加が促進されたり環境保全の取組みが広がる。
(→基本的方向1・2・3・4・6)

各主体の共働・連携を促進する

基本的方向1～5で各主体の主体的な取組みを支援・促進するとともに、主体を横断する取組みを基本的方向6～8で展開し、それらを踏まえ、各主体の共働・連携をさらに推進する。また、主体同士の情報交換の場を充実することで、地域や相互の課題解決が図られるしきみを検討する。

◆主体間の共働・連携が促進・強化される。

⇒あらゆる主体が参加できる活動・交流の場や機会の提供

事業名	内容	実績等
環境フェスティバルふくおか 【2・4の再掲】	環境に優しい行動の輪を広げていくための普及・啓発を目的とした、楽しみながら学べる参加体験型のイベントを開催。	来場者数 3.3万人 〔3.6万人〕
ラブアース・クリーンアップ事業 〔環〕資源循環推進課】	九州・沖縄・山口の各県や大韓民国釜山市等において、市民・企業・行政が協力し、海岸・河川・山なみの一斉清掃「ラブアース・クリーンアップ」を実施。	参加者数 4.4万人 〔3.7万人〕

⇒共働・連携の拠点となる施設などの活用促進や多様な主体との共働・連携を取り入れた施設運営

⇒共働・連携の在り方についての具体的事例の紹介

事業名	内容	実績等
福岡市環境行動賞 【1・2・3・4・7の再掲】	地球温暖化防止やごみ減量などに先進的・継続的に取り組み、環境保全・創造に高い水準で貢献し、顕著な功労・功績のあった個人・団体等を表彰。	表彰、応募 75件、83件 〔95件、108件〕

◆多様な主体の参画と共働・連携により、地域や相互の課題解決が図られる。

⇒多様な主体が参加し対話・交流する機会の創出

事業名	内容	実績等
トークカフェ 【1・6の再掲】	身近な自然や食文化など本市の個性・魅力が生物多様性に支えられていることが認識され、生物多様性の重要性が社会へ浸透するよう、情報集約発信等の仕組みを構築。	参加者数 159人 〔139人〕
エコ発する事業 【1・2の再掲】	市民団体やNPO法人などが自ら発意・企画し、主体的に行う環境活動への支援を行うとともに、団体間のネットワークづくりを進める。	活動報告会 を実施

福岡市環境教育・学習計画（第三次）の成果指標の達成状況一覧

◆福岡市環境基本計画（第三次）における環境教育・学習の成果に関連する成果指標

（福岡市環境基・計画（第三次）に掲載している成果指標から抜粋）

	成果指標	策定時	前回確認値	現状値	目標値
快適で良好な生活環境のまちづくり	市民のマナーに対する満足度	31.5% (2012 年度)	41.2% (2015 年度)	44.5% (2016 年度)	60.0% (2022 年度)
市民がふれあう自然共生のまちづくり	農林業のふれあい施設年間利用者数	872,920 人 (2013 年度)	911,635 人 (2015 年度)	874,000 人 (2016 年度)	898,000 人 (2016 年度)
	生物多様性を理解し、その保全を意識して行動している市民の割合	14.7% (2012 年度)	15.1% (2015 年度)	16.6% (2016 年度)	35.0% (2024 年度)
資源を活かす循環のまちづくり	ごみ処理量	56.3 万t (2012 年度)	57.0 万t (2015 年度)	57.0 万t (2016 年度)	47 万t (2024 年度)
	ごみのリサイクル率	30.6% (2012 年度)	31.7% (2015 年度)	31.3% (2016 年度)	37.0% (2024 年度)
	市民1人あたり水使用量(市民1人1日あたりの家事水使用量)	201 リットル (2012 年度)	197 リットル (2015 年度)	198 リットル (2016 年度)	現状維持 (2024 年度)
未来につなぐ低炭素のまちづくり	家庭部門における1世帯あたりのエネルギー消費量	30.1 キガジュール (2006～2010 年度平均)	25.8 キガジュール (2014 年度)	25.2 キガジュール (2015 年度)	22.1 キガジュール (2024 年度)
	業務部門における延べ床面積1㎡あたりのエネルギー消費量	1.08 キガジュール (2006～2010 年度平均)	0.91 キガジュール (2014 年度)	0.88 キガジュール (2015 年度)	0.88 キガジュール (2024 年度)

◆市民アンケートに基づく成果指標

市政アンケート調査の概要

〔調査時期〕	平成 30 年 5 月下旬～ 6 月上旬
〔調査対象者〕	福岡市市政アンケート調査協力員（約 600 名※1）
〔調査方法〕	郵送法（回収率：91.2%）

（市政アンケート調査の結果から設定）

	成果指標	策定時※2	調査年度※2			目標値※3
		(2012 年度)	(2016 年度)	(2017 年度)	(2018 年度)	(2024 年度)
環境保全 行動実施 状況	屋上や壁面、ベランダ の緑化	41.5%	29.9%	43.0%	45.2%	68.8%
	環境に配慮した製品 の購入	56.2%	44.0%	41.4%	41.0%	82.4%
	古紙等のリサイクル	81.8%	80.3%	78.2%	79.9%	88.9%
	近くでとれた農産物を 購入	82.2%	80.5%	78.2%	75.2%	88.6%
	買い物袋の持参率	82.2%	87.2%	85.5%	84.2%	88.5%
	不要なアイドリングや 空ふかし等をしない	71.2%	75.8%	73.5%	73.7%	77.5%
	徒歩、自転車、公共交 通機関の利用	79.1%	73.7%	74.2%	76.8%	85.2%
	エアコンの設定温度を 控えめにする	82.4%	63.9%	67.3%	65.6%	87.7%
環境活動 への参加 状況	自然保護活動	5.6%	3.2%	11.6%	13.1%	50.3%
	再生可能エネルギー・ 省エネルギーの普及活動	6.8%	2.6%	5.2%	5.9%	50.0%
	環境美化活動	34.8%	32.7%	27.7%	34.2%	65.4%
	リサイクル活動	26.7%	22.5%	21.5%	23.2%	57.3%

（※1）調査協力員は、毎年、異なる市民の方に就任いただいている。

（※2）「実行している」（「いつも実行している」「たまに実行している」）、又は「参加したことがある」と回答した人の割合。

（※3）2012 年の調査で、『実行したい』（「実行したい」「どちらかといえば実行したい」）、または『参加したい』（「参加したい」「どちらかといえば参加したい」）と回答した人の割合。

【参考】 市政アンケート調査（一部抜粋）

《「環境保全の意識」についておたずねします》

私たちを取り巻く環境問題は、東日本大震災を契機としたエネルギー問題をはじめ、ゲリラ豪雨やヒートアイランド現象、さらに黄砂やPM2.5といった越境大気汚染など、複雑多様化しており、環境啓発の推進に一層努める必要があります。

そこで、市民の皆さまの環境保全の意識や行動、環境問題についての関心度についてお伺いし、環境啓発の推進に向けて効果的な施策を検討したいと考えております。

問 環境を守ったり、良くしたりするためには、一人ひとりの行動が大切です。あなたは日頃、次のことを実行していますか。それぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

		いつも実行している	たまに実行している	実行していない	該当しない
物を買うとき	買い物のとき、マイバックを持参するなどして、レジ袋を断っている	1	2	3	
	エコマーク・グリーンマークなどのついた、環境に優しい製品を購入するよう心がけている	1	2	3	
	同じものであれば、近くでとれた農産品を買うようにしている	1	2	3	
自宅で過ごすとき	エアコン使用時の室温は、おおむね冷房時は28℃以上、暖房時は20℃以下になるよう心がけている	1	2	3	4
	屋上や壁面、ベランダ、庭で植物を育て、緑化に取り組んでいる	1	2	3	4
	古紙などは、リサイクルステーションや地域集団回収へ持って行くようにしている	1	2	3	
外出するとき	外出の際はなるべく自動車を使わず、徒歩や自転車、電車などの公共交通機関を利用するようにしている	1	2	3	
	自動車を使用するときは、不要なアイドリングや空ふかし、急発進などをしないようにしている	1	2	3	4

問 あなたは環境に関して、市・区役所や地域の環境団体（環境活動を行っている団体）などの活動に、過去1年以内に参加したことがありますか。それぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

	参加したことがある	参加したことがない
自然保護活動（緑地保全，河川・海岸清掃，自然観察会など）	1	2
リサイクル活動（地域集団回収，フリーマーケットの開催，廃油石けん作りなど）	1	2
再生可能エネルギー・省エネルギーの普及啓発活動（太陽光発電や節電に関する講座，イベントへの参加など）	1	2
環境美化活動（地域清掃，緑化活動，花壇の整備など）	1	2



環境にやさしい行動の波を起こそう！